



このたび、本校のESDに関する取り組み

に対して、NPO法人日本持続発展教育推進フォーラム主催の

「ESD大賞」として

又部科学大臣賞を授賞

することになった。こ

れは、小中高校の持続

可能な開発のための教

育(ESD)の優れた

実践を顕彰するもので

ある。

生徒にとっても、教

職員にとっても大いに

励みになる。

「前文」の趣旨を

実現するための教育課

程とするよう「持続可

能な社会の創り手」に

関わる教育活動が具体

的に実践できるように

構成されている。

本校におけるESD

に関する環境が整えら

れた。学習指導要領の

「前文」に「これから

の学校には、(中略)豊

かな人生を切り拓き、

持続可能な社会の創り

手となるものができる

ようになるとが求め

られる」とESDに通

底する趣旨が示され

た。

また、「総則」に

元全日本中学校長会

に関する取り組みは、

学習指導要領改訂を機

に、カリキュラムマネ

ジメントの視念に立っ

て中学・高校の教育課

程を全面的に見直すこ

とにも、「主体的・対

話的で深い学び」の実

現を図る授業改善に取

り組むことから始め

た。

各教科・科目などの

それぞれの目標や特性

を生かしながらも「前

文」や「総則」に示す

「持続可能な社会の創

り手」につながる教育

活動となるよう「いつ

でも、だれでもESD」

### いつでも、誰でもESD

佐野 金吾

でいる。

ESDの目標・教育

活動などに関しては、

ユネスコスクール全国

大会などの機会に示さ

れているが、生徒一人

一人がESDの活動を

通して持続可能な社会

の創り手としてあまわ

しい資費や価値観を養

うことのできる生徒の

学びが成り立つことが

重要であると考えてい

る。

ESDに関わってS

DGsが社会で話題に

なり始めてから、地域

の公的機関や企業など

が学校教育に理解と関

心を示し始め、現代的

な諸課題に対応した生

徒の学びが実践的で深

い形として行われるよ

うになった。

私立学校でありなが

らも地域社会と深く関

わり、「いつでも、誰

でもESD」の推進に

向け、今後も精進して

いきたい。

(東京家政学院中学

・高等学校校長)